

名古屋大学高等教育研究センター 第101回招聘セミナー

学びのかたちを皆でつくる —水戸芸術館“高校生ウィーク”の実践を中心に

森山純子氏

水戸芸術館現代美術センター
教育プログラムコーディネーター

■講演要旨

東日本大震災で被災した水戸芸術館は7月に展覧会「CAFÉ in Mito かかわりの色いろ」で活動を再開。収蔵品を持たない美術館の財産は21年間で築いた作家や地域との「つながり」であり、展覧会はその人的財産が形となった。年間を通じて行う教育プログラムは「つながり」をつくる最も地道な活動であるが、人が心を揺るがす場に居合わせ、関係性を重ねていける点では最もエキサイティングな場でもある。今回はその中から毎年1カ月間行う「高校生ウィーク」において、人々が協働で育ててきた活動を紹介する。

■お問い合わせ

info@cshe.nagoya-u.ac.jp
052-789-5814 (担当：豊田)

■日時

2011年10月19日(水)
17:30 - 19:00

■会場

東山キャンパス
文学部棟 128講義室

■アクセスマップ

